

第 27 回 日本乳癌画像研究会 プログラム・抄録集の訂正

P17、P27

特別講演

(誤) J-SATRT

→ (正) J-START

P18

S2-1

(誤) 整理検査科

→ (正) 生理検査科

P20

セミナー 4 基礎講演 1

(誤) 久留米大学医学部附属医療センター 病理診断 科山 口倫

→ (正) 久留米大学医学部附属医療センター 病理診断科 山口 倫

P30 S1-3 内容訂正

S1- 3 Volpara Density™ による定量的乳房構成判定の有用性

難波 清、中島 恵 (MD)、川見 弘之 (MD)、奈良 真弓 (RT)
北斗病院 乳腺・乳がんセンター

【背景と目的】マンモグラフィ (MG) 検診で最も深刻な問題の要因はデンスプレスト (DB) である。コンピュータによる定量的乳房濃度 (乳腺密度) 評価により DB 女性を個別化し、乳房超音波検査を提供することが理想的である。世界的に使われている複数の定量的評価ソフトについて比較検討した。さらに、自施設での個別化検診システムを紹介しビッグデータの成果を提示する。

【方法と結果】1. 世界の定量的評価ソフトは、2次元または3次元、そして運用法がマニュアル方式か自動式かに大別された。複数の比較評価の文献から、自動式で3次元が、MG 検診にとって最も適切であると評価された。2. 当センターでの自動式3次元乳腺密度評価ソフトウェア (Volpara Density™、以下、ボルパラ) を用いた個別化検診システムでは、受診者の理解度、満足度、および個別化の効果、共に理想的な結果を得た。3. ビッグデータから得られた日本と世界 14 カ国 (アジア 5, 欧米 9) との比較では、国や人種による相違が示唆された。さらに、日本人女性の乳房の乳腺密度が最も高かった。4. ボルパラによる乳腺密度測定は、2017 年に世界的に評価の高い Tyrer-Cuzick モデル第 8 版 (英国) に採用、リスク軽減評価に活用される予定である。

【結 語】デジタル化された MG 検診の DB 問題の解決には、自動式3次元乳腺密度測定ソフトウェアを活用した個別化検診とリスク低減効果の評価が有用と思われた。